

土岐市の家計簿を公表します

平成16年度上半期(4月~9月)の財政事情

この公表は、市の財政状況を皆さんに理解していただくため、毎年二回行っているものです。
 ここでは、平成十六年度上半期(四月~九月)の予算の執行状況と企業会計の業務状況などについてお知らせします。



一般会計

歳入の根幹である市税収入は、前年対比で減収となる見込みで、財源不足を基金繰入金に頼った大変厳しい財政状況となっています。

こうした状況の中、市民の皆さんの要望を的確に把握しながら、適切な行政経費の遂行を目指し、最小の経費で最大の効果が得られるよう、行財政運営に努めていきます。

今年度の一般会計予算は、九月末現在で、当初予算に前年度からの繰越事業費と二回の補正を行った結果、二百十六億八千七百三十九万円となっています(表①参照)。
 今年度上半期は、泉小学校教育事業・(仮称)クアハウス曾木敷地造成工事などの事業を行いました。



特別会計

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりするときは、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合八種類あります(表①参照)。



市債(長期借入金)

市の収入には市税などのほか、一時的に多額の支出を伴う学校・道路・下水道など、建設事業の財源として長期借入金(市債)があります。市債は、将来にわたって負担を残すこととなりますが、世代間の公平負担の原則を尊重しつつ、返済能力の範囲内で運用しています(表②参照)。
 今年度は、泉小学校の建設などで市債を借り入れする予定です。

表② 市債の内訳

(平成16年9月末の現在高)







債目	金額
教育債	35億8,727万円
土木債	23億2,349万円
衛生債	20億1,988万円
商工債	10億1,079万円
民生債	8億1,223万円
その他	60億6,445万円
特別会計	
下水道事業債	188億5,676万円
農業集落排水事業債	2,630万円
病院事業債	61億6,908万円
水道事業債	78億7,036万円
合計	487億4,061万円

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	216億8,739万円	104億6,939万円	81億1,750万円
特別会計			
曾木地区市有林管理	107万円	11万円	75万円
下水道事業	39億2,856万円	5億5,862万円	16億7,089万円
交通災害共済	2,242万円	1,416万円	1,057万円
国民健康保険	53億1,632万円	19億3,957万円	21億2,331万円
自動車駐車場事業	8,064万円	3,919万円	877万円
老人保健	55億9,988万円	23億6,257万円	24億8,769万円
介護保険	27億1,624万円	9億2,316万円	11億1,320万円
農業集落排水事業	2億4,360万円	1千円	5,248万円

市税の負担状況

10月末日現在の土岐市の人口を64,254人として市民一人当たりで計算すると…

固定資産税	市民税	都市計画税	たばこ税	軽自動車税	その他(入湯税ほか)
					
49,494円	35,779円	8,159円	5,228円	1,491円	34円

合計 100,185円

※市税負担額は、収入見込み額を64億 3,727万 6千円として計算

企業会計の状況

水道事業や病院事業などは、それぞれ一つの会社で事業を行っているの見立て、独立して経理を行うのが一般的です。これを企業会計といい、本市の状況は下記の通りです。

病院事業の業務状況

平成16年度上半期の利用者数は対前年度同期比で、入院が717人（1.3%）減少し、外来（居宅介護サービス含む）が4,929人（4.0%）減少しました。

<施設整備>

▷医療機器購入 757万円



業務の状況

病院名	区分	利用者数	1日平均利用者数
総合病院	入院	55,319人	302人
	外来	119,234人	962人
駄知診療所	外来	5,742人	46人
合計	入院	55,319人	302人
	外来	124,976人	1,008人

施設名	区分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入所	17,310人	95人
	通所	2,748人	18人

経理の状況

病院名	区分	金額
総合病院	収入	32億5,385万円
	支出	34億2,355万円
	差引	△ 1億6,970万円
駄知診療所	収入	3,325万円
	支出	3,829万円
	差引	△ 504万円
合計	収入	32億8,710万円
	支出	34億6,184万円
	差引	△ 1億7,474万円

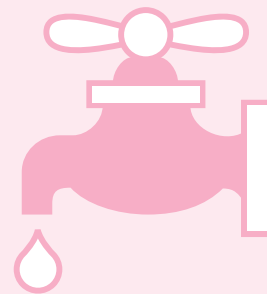
※総合病院に老人保健施設を含む

水道事業の業務状況

平成16年度上半期の配水量は346万m³（対前年度同期比1.39%増）、これに対する有収水量は321万m³（対前年度同期比2.53%増）となりました。有収率は92.59%で、前年度同期に比べ1.03%増となりました。

<施設整備>

- ▷配水管新設工事
（3件・5,749万円）
- ▷配水管布設替工事
（5件・2,661万円）
- ▷公共下水道関連工事
（12件・1億7,943万円）



業務の状況

区分	業務量
配水量	3,461,722m ³
有収水量	3,205,359m ³
有収率	92.59%
給水件数	22,501件
給水人口	64,113人

経理の状況

区分	金額
収入	9億1,633万円
支出	8億1,461万円
差引	1億 172万円

※有収率=有収水量（料金となった水量）と配水量との割合